

“高齢者の住まい”アウカイト

第6回「高齢者と生活環境の中の“色”」

今回は、私達を取り巻く生活環境の中の様々な“色”がどのように人間の感覚に影響を及ぼすのか、とりわけ高齢者への影響をお話したいと思います。

私達が住まいや施設を設計する時、住まいの場合は主に主婦との相談であり、保育園、障がい者施設、また高齢者施設での打ち合わせには女性の担当者が多くなってきています。

その場合、浴室の内装でタイルの色や浴槽の色決めの際に、担当者である女性はピンクを選ばれるケースが圧倒的に多いのが常です。確かに、ピンクは暖色系で女性が好む色であることは間違いありません。しかし、このピンクは人間の肌の色と似か寄せた色であり「補色」の關係に位置します。この「補色」の關係は、人間の肌の色を沈んだ色に見せてしまいます。もっと悪くいえば少し汚くさえも見せてしまいます。反対に「対比色」の關係にある「青や緑系」の色は、肌を生き活きと美しく見せます。ただ、青や緑系は寒々と冷たい雰囲気となってしまう欠点があります。その点を補う上では、壁のタイルは、少し薄い青や緑掛かったクリーム色にすると暖か味が感じる色になります。また、浴槽は薄い青や緑色とするか、ミルキーホワイト、アイボリー色とすると、浴槽にお湯を張ると、お湯は、緑色となり、肌が生き活きとしたピンク色にみえます。高齢者の肌も、女性の肌も綺麗に生き活きとしてみえるはずで

次に、高齢者の中には緑内障や白内障の人も多く、このような症状の高齢者は、特にインテリアに留意する必要があります。この症状の人は、黄色のサングラスを掛けたように世界が見えます。また、白内障の人は曇りガラスの眼鏡を掛けたように見えます。

黄色のサングラスを掛けたように見える人は、濃い青や緑色はほとんど黒色に近く見えます。また、黄色はほとんど白色に見えます。白色は黄色に見えます。その点をよく理解した上でインテリアの色を考える必要があります。

尚、認知症の人が最後まで人間の五感の内、認知できる感覚は視覚といわれ、その中でも色覚だとストックホルム大学の研究で解ってきています。

研究の結果、赤色が最も大きい反応をみせたといえます。ですから、スウェーデンの多くの高齢者施設では、カーテンやテーブルクロスには一部赤色を取り入れたり、バラの花を飾ったりして、認知症高齢者の症状を少しでも遅らせる工夫をしています。

最後に特徴的な色について、人の感覚に影響しているものを紹介してみましょう。

- 1、薄緑色（もえぎ色）：人の神経に優しく、赤色（血）の対比色であるために、事故、怪我を防ぐために工場の内装色に取り入れられている。
- 2、薄い桃色（ピンク）：人の精神を落ち着かせる効果がある。
（精神病院の天井色に取り入れるケースがある。）
- 3、乳白色（パールホワイト）：便器の色に適する。血便、血尿等を自分で発見・確認することができるので、病院や高齢者施設では不可欠である。

つづく



書評

希望のごはん 夫の闘病を支えたおいしい介護職ストーリー

日経 BP 社

ISBN 978-4-8222-5927-3

1300+税

希望のごはん

夫の闘病を支えた
おいしい介護食ストーリー



料理研究家
クリコ

日経BP社

介護食を作る上でのノウハウを知ることができる本です。

著書は口腔底ガンで嚙む力を失った夫のために試行錯誤しながら「味が良くて、おいしそうな介護食」を作ることを試みます。そして夫を職場復帰させます。

市販の介護食では 著書の夫アキオさんに合うものありません。そこで夫のために「味が良くて、おいしそうな介護食」作りを試行錯誤をします。

流動食の介護食は水分が多いのでカロリーが普通のご飯に比べ半分以下になり、なかなか体重を増やすことは難しいなか、夫が著書の作った介護食で退院後激減していた体重が7kg 増えて体力が回復していきます。

わたしが初任者研修の資格を取得する際に、ご利用者様お一人お一人に合った支援をすることが大事だということを学びました。にもかかわらず毎日仕事をちゃんとこなすことに意識がいつてしまい、それを実践することができていないことにこの本を読み気づきました。

この本は私達が介護の仕事をする上で大事な利用者を主体に考え、利用者一人一人に合った支援をすることを思い出させてくれます。わたしは著者が夫のために介護食作りに励まれたように、常にご利用者様に寄り添いご利用者様の QOL（生活の質）を高めていけるような支援ができるよう励みたいと思います。

ヘルパー K



有限会社 おとくに福祉研究所
きょうと福祉倶楽部

〒617-0824

長岡京市天神 4 丁目 7-12 ハイッ東台
101 号

TEL 075-958-2560

FAX 075-957-2808

E-mail kyoto-care@club.email.ne.jp